



KES審査・登録事業所 環境取組事例集



KES
Environmental
Management System
Standard

特定非営利活動法人
KES環境機構

目次

KES・取組事例集改訂にあたって	1
はじめてみませんか KES	2
KES 審査・登録事業所の環境取組事例	3
KES1-0165 光工業株式会社 KES	3
KES1-0296 日本カフェテリア株式会社 本社工場 KES	3
KES2-0365 株式会社 山下工業所 KES	4
KES1-0646 株式会社 ネリキガス KES	4
KES1-0680 株式会社 アートスクリーンヨシオカ KES	4
KES1-0693 株式会社 宇治吉田運送 KES	5
KES2-0056 (財)京都市環境事業協会 京エコロジーセンター KES	5
KES2-0106 株式会社 ジーエス・ユアサバッテリー関西支社 KES	5
KES2-0120 ホテルグランヴィア京都 KES	6
KES2-0139 金剛薬品株式会社 富山工場 KES	6
KES2-0149 株式会社 京都テクニカ 亀岡システム工場 KES	6
KES2-0235 財団法人 関西電気保安協会京都支部 KES	7
KES2-0255 桃山ポリ株式会社 KES	7
KES2-0264 三共精機株式会社 KES	7
KES2-0338 株式会社 五健堂 KES	8
KES1-3-0002 岩手県 田野畑村役場 ies	8
KES1-3-0007 岩手県立北上翔南高等学校 ies	8
KES2-3-0007 東北精密株式会社 ies	9
KES2-HI-0023 太洋工業株式会社 HI-KES	9
KES2-HI-0080 鈴新株式会社 HI-KES	9
KES1-5-0068 広島工業株式会社 M-EMS	10
KES2-7-0016 株式会社 ハイロックス ESL	10
KES1-0372 有限会社 丸徳産業 TGAL	10
KES1-0835 株式会社 ニホデン HKES	11
KES2-12-0001 株式会社 ホテルグランヴィア広島 HKES	11
協働審査登録機関連絡先	12
KES 倶楽部・KESC・団体紹介	13
KES 審査・登録における Q&A	14

2009年7月吉日

KES・取組事例集改訂にあたって

特定非営利活動法人・KES環境機構
専務理事 津村 昭夫



平素はKESにつきまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード」は「京都議定書」発祥の地からその先進的役割を果たすための事業の一環として2001年4月にスタートしました。

KESは、主に中小企業やこれから取組みを始められる組織が環境改善活動を実践していただくこと、そしてその取組みが企業経営や社会（地域）活動に活用していただけることを目指して、次の要件を考慮して策定いたしました。

1. KESを取組んでいただく
 - ①「シンプル」な仕組みである
 - ②「低コスト」で取組みができる
2. KESを活用する
 - ③「環境経営」の機会を提供できる
 - ④「地域と共生」の機会を提供できる

すでに「KESを取組んでいただく」ことにつきましては、「シンプル」で「低コスト」な仕組みとしていまや全国的に広まり、2009年6月末で審査・登録数は2,650件を超すに至りました。

ところでKESを取組んでいただいて重要なことは、如何に「KESを活用」するかということにあります。まず、「環境経営の機会を提供」につきましては、多くの実績から「KESを取組んだ結果として、低コストでCO₂削減の定量的把握が可能など環境改善への着実な実績と、コストダウンなど経営システムや企業体質の強化にも成果があった」との報告をいただいています。

また「地域と共生の機会を提供」につきましては、KESの特性から自治体や学校、ホテル・旅館・デパート・医療機関などのサービス業、さらには法曹界など幅広い分野で取組んでいただき、KES取組み組織による「地域環境コミュニケーション」活動も着実に広まっています。

これらの実績を「シンプルな環境報告書のイメージとしてまとめてはどうか」とのアドバイスをいただき、この“環境取組事例集”を発行し、この度3回目の改訂版となりました。

既に活動を活発に進められている組織、またこれからKESの取組みを始めようとしておられる皆様にとって参考にしていただければ幸いです。

地球温暖化や環境汚染など、地球規模の環境問題には、産業界も大きく関わっています。環境問題を解決するためには、あらゆる規模・業種の企業が、環境や人類の将来を考えた事業活動を行っていくことが大切です。

地球温暖化防止京都会議・COP3が京都市で開催されたことがきっかけで、市民、事業者、行政が協力して立ち上げたパートナーシップ組織の「京のアジェンダ21フォーラム」において、企業の90%を超える中小企業が

環境に配慮した事業活動に取り組みやすい仕組みとして考案したものが「KES」です。

KESは、2007年4月2日付で「京のアジェンダ21フォーラム」から「特定非営利活動法人 KES環境機構」に引き継いで運営されています。

全国で14カ所を超える協働機関においても審査登録活動を行っています。

皆さん、KESを始めてみませんか。

KESの特色

KES (KES・環境マネジメントシステム・スタンダード) は、環境への負荷を管理・軽減するとともに環境経営の推進にも有効な仕組みです。

■ 取得にかかるコストが安く、わかりやすい。

企業や自治体・学校・家庭など、あらゆる規模・業種の組織で取り組みます。

■ 段階的に取り組める二つのステップがある。

環境問題に取り組み始めた段階を想定した**ステップ1**、将来「ISO14001」の認証取得を目指して取り組む段階で、「ISO14001」と同じような要求項目を設けた**ステップ2**があります。

KESを審査・登録すると…

1. 省エネ・省資源・リサイクルなどにより、コストダウンできる。
2. 環境にやさしい企業として認定され、取引等も有利になる。
3. 企業の社会的責任の証明になる。
4. 環境管理体系 (PDCA) が経営管理にも応用できる。
5. 法規制順守に対応できる。
6. 従業員の環境意識が高まる。

1事業所あたり、年間約12tのCO₂削減効果

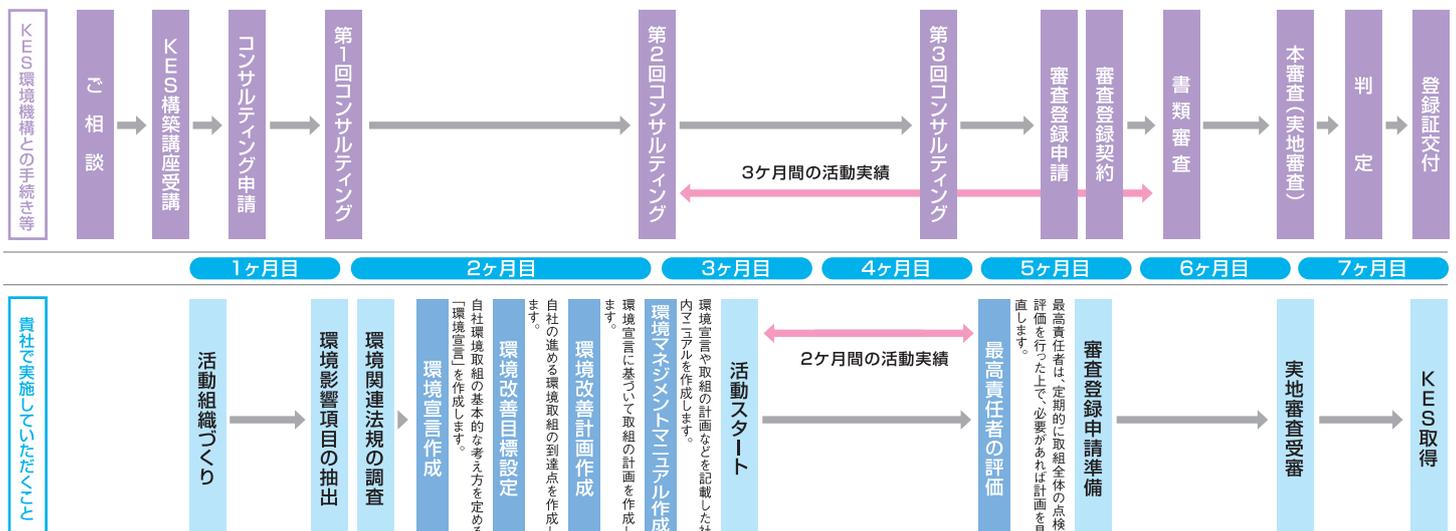
2001年から2007年10月までの間にKESを審査・登録し、電気、ガスなどエネルギーの効率的使用に取り組んだ503事業所（環境改善活動実績が1年以上あるもの）で、取組初年度1年間に削減されたCO₂の合計は、年間5,832t分になります。1事業所あたり約11.6tの削減となります。（調査月2007年10月）

●KESの取組によるCO₂削減効果

	電力	都市ガス	プロパン	ガソリン	灯油	重油
削減量	1183万kWh	58ton	34kl	118kl	26kl	411kl
CO ₂ 換算	4228ton	125ton	102ton	272ton	66ton	1139ton
取組事業所数※	476	23	9	79	11	19

※複数の取組をしている事業所を含む

KES (ステップ1) の取組手順と取組内容



KES審査・登録事業所の環境取組事例

京都KES

KES1-0165

光工業株式会社

当社は、人の暮らしに不可欠な役割を果たしてきた「道」の建設を通じ、人類の豊かな生活環境の創造に努めてきました。2002年にKESを取得して以来、以下の3項目を環境管理重点テーマとして継続的な改善に取り組んでいます。

- (1) エコロジー商品（常温舗装材「YKアスコン」）販売の推進
- (2) 省エネルギーの推進
- (3) グリーン調達の推進

公共施設である道路の小規模補修工事に多く用いられる常温アスファルト混合物に含まれる揮発性有機溶剤（VOC）は、光化学オキシダントや浮遊粒子状物質の一因とされ、光化学スモッグの要因や長期にわたる吸引で人体に影響を及ぼすといわ

れています。当社はここに着目し、揮発性有機溶剤（VOC）排出量低減型（環境に優しい）常温アスファルト道路補修材「YKアスコン」を独自に開発し提供しています。

昨年にはグリーン購入ネットワーク（GPN）より第10回グリーン購入大賞の優秀賞を受賞しました。これは環境に配慮した製品・サービスの普及で優れた活動に取り組む企業や団体を表彰するものであり、継続的な改善に取り組んできた成果だと認識しております。

社内ではこれらの環境負荷低減活動を、社員一人ひとりが積極的に実践できるよう全従業員に周知するようにし、人にやさしい技術開発を目指して、これから新しい可能性に挑戦していきます。



第10回グリーン購入大賞
優秀賞



エコロジー商品販売の推進
自社開発の常温舗装材「YKアスコン」

〒612-8415
京都市伏見区中島町5
TEL：075-641-5361
FAX：075-641-4850
URL：<http://hikarikogyo.net/>
創立年月：1955年5月

京都KES

KES1-0296

日本カフェテリア株式会社 本社工場

■取得して良かった点

弊社は社員食堂経営及び弁当を製造販売しております。その為に、毎日の献立は栄養士を中心に会社をあげて作成しておりますが、油料理は給食業の悩む問題となっております。しかし、KES環境マネジメントシステムを取得しまして、この油料理の廃油を減らすことを念頭に、揚げもの料理を少なくする一つとして、揚げない油料理の開発に社をあげて検討しました。その結果、料理自体のカロリー量の大幅減量に至り、新たなヘルシーメニューの開発につながりました。またそのころから、企業的生活習慣病が問題となり、ヘルシー嗜好に合致するメニュー開発の必要性があり、KES取得が大きい

なきっかけのひとつとなり、ヘルシーメニューの開発にはずみがつきました。

また、地域（八尾市）の環境フォーラムにも弁当販売で参加出来ましたことは、地域の方にも会社を知っていただく機会にもなり、企業イメージアップにもつながりました。

これからも全従業員共に廃油・生ごみ等の減量化が地球環境保全とお客様の健康増進にもつながる信念で一層取組んでまいります。



●これまでの主な環境項目●

- ① 廃油の減量化
- ② 生ごみの減量化
- ③ 工場周辺の清掃

〒581-0068
大阪府八尾市跡部北の町2丁目1-31
TEL：072-923-4325
FAX：072-923-4329
e-mail：n.cafe@crux.ocn.ne.jp
創立年月：1960年4月

株式会社 山下工業所

当社は、東海道新幹線開業の前年（1963年）に創業、今日まで、金属板から美しい三次元流線形曲面を作り出す「打ち出し板金」と呼ばれる熟練技能で、新幹線の『顔』となる先頭構体や計器盤などを製作してきた会社です。「現代の名工」を含め多数の大臣表彰受賞者を輩出、新幹線の進化したものづくりを裏方で支えてきた実績が認められ、2007年には総理大臣表彰・第二回ものづくり日本大賞・特別賞を受賞、2008年には「元気なモノづくり中小企業300社」に選定されました。

現在では、鉄道車両部品や精密板金部品に加え、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の次世代超音速機開発用の試作品具など保有技術を応用した異分野の製品類も



台湾新幹線先頭構体

製作しています。地球環境問題への関心の高まりを受け、企業活動を行う中、PDCAサイクルに沿って継続的改善を図るKESを構築・運用して、2008年3月にKES認証を取得しました。ムダ・ムリ・ムラのない「ものづくり」、一般廃棄物と産業廃棄物の削減、グリーン購入、工場周辺の清掃などの環境改善活動を、全員参加で実施中です。

当社は山口県で最初にKESステップ2の認証を取得した企業であることを自覚し、広島KES推進機構（略称：HKES）と歩調を

合わせ、県内地元メディアや近隣企業へのKES普及活動・働きかけを行っています。これからも、「環境にやさしいものづくり」を地道に実践し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

合わせ、県内地元メディアや近隣企業へのKES普及活動・働きかけを行っています。これからも、「環境にやさしいものづくり」を地道に実践し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。



技能PRのために製作のアルミ合金製チェロ

〒744-0002
山口県下松市東海岸通り1-27
TEL：0833-41-3333
FAX：0833-43-6914
e-mail：m.fujii@odeko.co.jp
URL：www.yamashita-kogyosho.com
創立年月：1963年9月

株式会社 ネリキガス

当社は、高圧ガス、医療用ガス等、特殊ガスの販売と、それに付帯する配管等の設備工事を営む会社です。KESには2006年11月から取組み翌年6月に認証を取得して2度更新し、現在3年目の活動に入っています。

初年度は、電力使用量、自動車燃料、事務用紙の削減を目標に掲げ、順調に削減の実を挙げて3目標とも達成できました。ところが2年目に入って、電力使用量が目標をオーバーする事態が続きましたので、社長以下環境委員会で検討し、①暖房を空調機から一部ガスファンヒーターに切替える、②夜間の待機電力を使わないよう終業時にブレーカーを切って帰る、③事務所内の蛍光灯を新しい節電

型のものに取り替える、等の対策を順次講じて目覚ましい効果を挙げました。これらの設備投資にかかった費用は、2年間に節約できた額で賄いました。

2年目からは目標に会社周辺の清掃を加え毎週全員で清掃に取り組みとともに、更に3年目の今期は、積極的な目標として容器回収率の向上を掲げ挑戦しているところです。お陰様でKESの精神が次第



に社員に浸透し、家庭生活においても節電やガソリンの節約に心を配るように

なったという声が多く、KESに取り組んで良かったと喜んでおります。

	2006年度	2008年度	削減率
電力使用量	34,034kWh	21,268kWh	37.5%
自動車燃料	33,723L	30,588L	9.3%
事務用紙	55,500枚	43,297枚	22.0%

〒661-0974
兵庫県尼崎市若王寺3丁目19-12
TEL：06-6498-4161
FAX：06-6498-0336
e-mail：kuwana@nerikigas.co.jp
創立年月：1980年2月

株式会社 アートスクリーンヨシオカ

当社はスクリーン印刷を中心に、印刷販促物の製造販売を行っております。弊社の経営理念の中に「地球環境と資源の保護に努め、みんなが安心して暮らせる社会づくりに貢献します。」という一文があります。この理念を実践するためにもKES取得は大いなる動機づけとなりました。私たち印刷業は環境問題に身近である必要があります。環境問題にも配慮した商品の提案が必要です。KESに取り組むことによって社員の意識レベルが向上し、お客様に満足して頂ける商品を提供できるようになりました。

現在、KESの具体的な取組みとして、印刷物のクレームの削減と電気使用量の0.5%削減、会社の周辺・公園掃除を行っ

ています。毎月の会議では5S・報連相について徹底して話し合い、「なぜKESに取り組むのか」ということを各人がしっかり理解した上で、一つひとつの活動に取り組んでいます。エアコンの温度管理・照明の管理・産廃物の分別等、職場環境の改善が無駄をなくし仕事の効率化を生み出しました。コミュニケーションも密になり、ひとつの目標に向かってみんな



が一丸となって取り組んだことで一人ひとりの自信にもつながりました。

今後も「環境にやさしい企業」としてさらなる活動を展開していきたいと思っています。

●重点項目

- (1) 印刷物のクレームの削減
- (2) 電力使用量の削減（0.5%）
- (3) 会社周辺の清掃

〒601-8176
京都市南区上鳥羽山ノ本町43-1
TEL：075-681-6227
FAX：075-671-2560
URL：http://www.art-s-yoshioka.co.jp/
創立年月：1960年5月

株式会社 宇治吉田運送

当社の事業は、引越・婚礼・一般貨物・小荷物配達・一時倉庫保管・貸切バスと「人物全てを運びます」をキャッチフレーズに半世紀近くにわたり、運送業として地道にコツコツ歩んでおります。

KESへの取組みは、「会社は誰のものか？」からはじめました。取得する前の当社は言われた事だけをする社員が大半でした。まず役職中心に動き始めました。電力の削減では、クーラーの設定温度や無駄な電気の消費量を減らす事や運送業として一番経費にも影響する車両燃料の使用量削減の必要性を各社員に理解させる事からスタートしました。啓発活動ではごみひとつない会社を目指そうとしました。最初の一年で電力・車両燃料は削減しましたが、啓発活動は社員の

意識が低く出来ない月が何度かあり、非常に情けない思いをしましたが、今は暇があれば啓発活動をするようになっております。

今年度は、引越で使用した古ダンボール等をリサイクル業者へもって行き、そのお金で車椅子を寄贈する計画をたてております。

私はKESを取組む事で会社が一体化出来る引き金の役目を果たしてくれたように思います。誰もが人に言われるのではなく、自分から必要と思わない限り、本当の意味で活動にはならないと思います。



これからも一人一人の意識向上に努めて行きたいと思っております。

●環境重点項目

- (1) 省エネルギー化
電力使用量の削減
- (2) 省資源化
自動車燃費の向上
- (3) 啓発活動
会社周辺の清掃

〒611-0002

京都府宇治市木幡東中34-7 (本社営業所)

TEL : 0774-31-8291

FAX : 0774-33-3333

e-mail : unso@uijyoshida.co.jp

URL : http://www.uijyoshida.co.jp

創立年月 : 1964年2月

(財)京都市環境事業協会 みやこ 京エコロジーセンター

京エコロジーセンターは、平成14年4月に開館し、環境学習や環境保全活動の拠点として活動を始め、8年目に入りました。さらに、KESステップ2は取得してから今年で7年目に入ります。平成20年度に取り組んだ環境改善目標は前年度より引き続き同様の5項目と設定しましたが、前年の目標値を更に改善していく活動をしてまいりました。日頃より、来館者の方や地域の方に環境保全活動の推進を行っているため、まずは職員自らが実践していくことを目指して全員で取り組みました。結果としては、5項目全ての目標を達成することができ、さらなる課題や目標もみえてきました。取り組みの中の、省エネルギーに関しては毎年、前年実績の1%削減に取り組んできましたが前年の段階で限界を感じ、20年度の目標を維持に変更しました。しかし、維持を目指して取り組むなか、今までよりも細

かい部分に目を向け具体的方策を増やし、約1%の削減をすることができました。この結果を踏まえ、今年度もさらなる改善を目指し、省エネルギー1%削減を実践しています。また、今年度はこの5項目に加え新たに廃棄物削減にも取り組んでいます。今後も、更にKES活動を充実してまいります。



現在、改善目標には入っていませんがKES取得初年度より取り組んでいる、周辺清掃の様子。

平成20年度環境改善目標5項目

- ① 省エネルギー【電力使用前年実績の維持】
- ② 省資源【用紙使用量の削減】
- ③ セミナー等の活動
- ④ 環境研修
- ⑤ KES普及活動

	平成19年度実績	平成20年度実績
電力使用量 (kWh)	392,094	360,822

〒612-0031

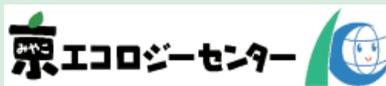
京都市伏見区深草池ノ内町13

TEL : 075-641-0911

FAX : 075-641-0912

URL : http://www.miyako-eco.jp

創立年月 : 平成14年4月



株式会社 ジーエス・ユアサバッテリー関西支社

当社は関西地区で自動車用バッテリー・充電器の卸販売、カーオーディオ・カーナビ等の自動車電装品の卸販売をしている会社です。

今後の企業経営において、地球環境保全が重要課題であり、第三者認証の必要性を感じていたところ、当社の規模でも取組みやすいKESを、お取引先より紹介していただいたのがきっかけでした。

2004年3月より電気の使用量・事務用紙・一般廃棄物の削減、地域清掃活動での社会貢献、ECO.Rバッテリーの拡販を環境改善目標としてKESに取組み始めました。

改善目標の中でもECO.Rバッテリーは、各部材にリサイクル素材を採用し、二酸

化炭素排出量を12%削減しながらも当社従来品に比べ平均約2%の燃費向上効果を上げる環境に配慮された高性能商品であり、日常の販売業務を環境改善活動に組み込んだことが改善目標設定の利点でした。

現在は社員環境教育を通じ、全社員の環境意識も高まり、法令・倫理の遵守においてもKESの活動が役立っております。

今後は主要なお取引先にKESの取得を斡旋し、企業も地域社会の一員である事をお互いに認



地球環境に配慮した「ECO.R」シリーズ

識し合い、ともに発展していく事を目指します。



地域清掃活動の様子

〒532-0033

大阪市淀川区新高1丁目2番14号

TEL : 06-6396-0951

FAX : 06-6396-7147

URL : http://gyb.gs-yuasa.com/

創立年月 : 平成16年6月

ホテルグランヴィア京都

ホテルグランヴィア京都は、地球環境に優しいホテルづくりを目指し、平成17年3月に宿泊施設で最初の「KES・ステップ2」を取得しました。当ホテルでは、CO2削減に寄与する省エネ対策、食品ごみのリサイクルによる廃棄物の削減、ペーパーレス化の推進などを中心に取り組んでいます。

平成18年度からは、ホテルで発生した食品ごみの飼料化に加え、食品ごみの一部を堆肥化し、有機ハーブを栽培・収穫して、ホテル館内の料理やスイーツに活用する「食の循環ループ」を運用開始したことにより、「可燃ご



み焼却量」を大幅に削減しています。

また、平成19～20年度に実施した客室リニューアルでは、最新の節水型トイレの導入、シャンプー等のアメニティの提供方法を小ボトルからディスペンサー式に変更、さらに連泊時にはリネン類（シーツ・タオル・ナイトウェア）の継続利用を基本とするなど、客室内でのエコロジーも大幅に進化しました。

昨年度、西日本エリアに展開するグループホテルにおいても、2施設でKESの認証取得が実現し、環境への取り組みがより一層、強化されています。



	16年度 (KES取得前)	18年度 (KES2年目)	20年度 (KES4年目)	16-20年度 削減率
エネルギー使用量 [CO2換算] (トン)	10,919	9,923	9,758	11%
可燃ごみ焼却量 (トン)	922	580	373	60%
リサイクル率	18%	38%	53%	+35P
OA用紙使用量 (千枚)	3,012	2,531	2,370	21%

〒600-8216

京都市下京区烏丸通堀小路下
東堀小路町901番地 京都駅ビル内

TEL : 075-344-8888

FAX : 075-342-5535

e-mail : y_naito@granvia-kyoto.co.jp

URL : <http://www.granvia-kyoto.co.jp/>

開業年月：平成9年9月

金剛薬品株式会社 富山工場

環境マネジメントシステム構築により全員参加で環境改善活動を推進！

当社は、健康をテーマに事業展開し実績を重ねて来ましたが、事業を進める中で地球環境の保全が経営の重要課題と認識し、社長の強い意向及び営業部門の要望等により環境システムを導入し、全社的に環境改善活動に取り組むことになり、ISOに準拠したKESステップ2の認証を取得しました。取得範囲は、本社・支店・工場である。このため重点テーマは毎年6項目と多い。内訳は、削減4項目とグリーン調達及び社会貢献活動である。

KES導入による効果は、社員の環境意識の高揚とともに諸施策を積極的に実行した結果、目標を大きく上回り達成している。

特に削減テーマについては、別表に示す通り、KES導入前後で、各項目とも大幅に削減した。金額的には年間3百万以上削減している。これらの削減テーマは、毎年徐々に目標達成が困難になってきている。

- ①従来より、県・市・経済同友会等が進める環境保全活動に参画・推進しています。
- ②平成20年11月から社内企画による毎月第2週の「ノーマイカーウィーク」を導入しました。
- ③今後は、更に炭酸ガスを減少させるテーマに積極的に取り組んでまいります。

【KES導入前後比較】

	2004年度	2008年度	削減率[%]
1.電力使用量 [kWh/年]	226,187	153,606	32.1
2.ガソリン使用量 [L/年]	26,130	20,533	21.4
3.事務用紙使用量 [枚/年]	483,238	219,496	54.6
4.産業廃棄物 [kg/年]	44,740	5,488	87.7

〒930-0834

富山市岡屋町1丁目8番7号

TEL : 076-451-0161

FAX : 076-451-0391

e-mail : honsya@kongo.co.jp

URL : <http://www.kongo.co.jp/group/group.htm>

創立年月：昭和21年2月

株式会社 京都テクニカ 亀岡システム工場

当社は2005年9月、亀岡システム工場にてステップ2を取得して以来、環境活動を始めて5年目になり、従業員の環境への意識も随分と根付いてきたと感じております。

2008年度は、電力消費量の削減に繋がるテーマと、業務改善に繋がるテーマの両面でKESの活動を行いました。電力については、電気設備への工夫を行いました。クリーンブースのインバータ化により、夜間と未使用時の省電力化と、コンプレッサの使用法に工夫を凝らしました。その結果、ここ3年で見て、約9%の電力消費量を削減することができました。



業務改善に繋がるテーマとしては、在庫部品の削減や設計の工夫によるコストの低減を狙いとして取組み、一定の効果があったものと感じています。

また、京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクトにおいて、森づくりの活動にも参加させて頂くことができ、生きた環境学習を体験することができました。

昨年度、ISO9001の認証を取得したこともあり、今後は環境改善テーマと品質改善テーマを両立させ、品質の良いものづくりが環境負荷の低減にも繋がることを、KESの取組みの中で実感していきたいと考えています。

	2006年度	2007年度	2008年度
電力消費量 (kWh)	104,198	99,234	95,336

2008年度 環境管理重点テーマ

- (1) 線くずの排出量削減
- (2) 開発製品への改善
- (3) 設計時の規格材料使用の推進
- (4) クリーンブースの電力消費量削減
- (5) 在庫部品の削減
- (6) コンプレッサの電力消費量削減
- (7) 環境コミュニティ活動への参加

〒621-0255

京都府亀岡市本梅町西加舎前ヶ芝9-3

TEL : 0771-26-3891

FAX : 0771-26-3892

e-mail : s_taniyama@kyototechnica.co.jp

URL : <http://www.kyototechnica.co.jp>

創立年月：1984年4月

財団法人 関西電気保安協会京都支部

電気の使用がますます複雑、多様化する現代社会の中で、当関西電気保安協会京都支部は電気的安全確保のため、お客さまのニーズに合わせた各種にわたる業務に携わっています。環境との関わりが深いエネルギー関係事業者として、支部長自ら環境問題に関心をもちスタートした活動は、2006年1月に初の環境宣言を定めて以来、協会内にとどまらず、お客さまを巻き込んだ改善項目にも着目し、現在は表のような環境改善項目について取り組んでいます。

とくに「微量PCB分析の推進提案」と「使用電力削減提案」の2項目については、「お客さまに対して、積極的な提案と助言をさせていただき、その事が理解されて、それぞれの提案が進めば環境負荷は大きく低減されることになり、協会だけで環境改善するよりも大きなスケールメリットを生む」と評価されています。

また、進捗管理を具体的施策の実施回数により進め、効果の確認を数値で把握する取組方法を採用したことで職員が継続的に活動しやすいものことができました。



ステップ2の取得から4年目に入った取組は、お客さまにヨシ、職員にヨシ、社会にヨシの三方よしで地道に活動を続けながら、更なるレベルアップに挑戦していきたいと考えています。

〒605-0965
 京都市東山区今熊野池田町4-8
 TEL：075-541-5375
 FAX：075-541-1466
 e-mail：k22679@ksdh.or.jp
 創立年月：昭和40年12月

環境改善目標	具体的施策
1 廃棄物削減	1.1 微量PCB分析をパンフレットによりPR 1.2 年次点検実施予定のお客様に提案 1.3 年次計画時月交渉シートを作成 1.4 作業計画書指示票にパンフレットを添付 1.5 点検報告書提案欄に明記する 1.6 ファイルチェック時に実施数をとる。
2 省エネルギー化 お客さま電力使用量の削減提案 (単位：提案回数)	2.1 有効と思われるお客さま抽出 2.2 パンフレットによりデマンド監視装置取付推奨 2.3 実際のお客さまデータを参考に電力使用量削減を提案 2.4 提案回数を実績値とする
3 省エネルギー化 協会事務所電力使用量の削減 (単位：実施回数)	3.1 昼休み時間は必要箇所以外は消灯 3.2 勤務時間内でも不必要箇所は消灯 3.3 エアコンの設定温度の監視 3.4 OA機器は終業時以降は電源をオフ(当番・宿直用は除く) 3.5 実施チェック表により実施値をとる
4 省エネルギー化 協会事務所水道使用量の削減 (単位：実施回数)	4.1 水道蛇口をこまめに閉める。 4.2 洗濯機使用水量を調整する。(流しっぱなしにしない等) 4.3 水道器具の定期的な漏水チェックを行う。 4.4 実施チェック表により実施値をとる
5 省エネルギー化 エコドライブの実施 (単位：実施回数)	5.1 アイドリングストップ実施 5.2 車間距離を保ち平滑な運転 5.3 急発進、急停止をしない 5.4 タイヤ空転は適正な状態に維持 5.5 車内は常に整理し不要な荷物は積載しない 5.6 実施チェック表により実施値をとる
6 啓発活動 事務所周辺の清掃 (毎月1回：第2水曜日) (単位：回)	6.1 事務所周辺及び付近の歩道を毎月清掃 6.2 実施場所は、上技術・中技術・南技術センター 6.3 実施チェック表により実施値をとる

桃山ポリ株式会社

当社は伏見桃山城と宇治市をつなぐ桃山御陵参道の南に位置し従業員6名ではありますが取引先からの要望又、企業の社会的責任として環境マネジメントシステムを導入しKESステップ2を認証取得しました。

KESを導入して3年、最高責任者である社長を先頭に電力削減、ガソリン使用量削減をはじめ資源の有効利用等、各人が意識をして管理出来るようになりました。

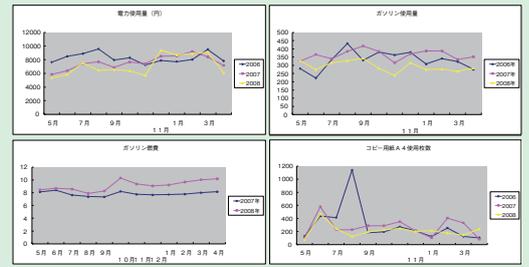
具体的には照明や空調設備について休憩時間等こまめに消灯や運転温度の基準を作り電力使用量の5%削減、アイドリングストップ、エコドライブ等の実施によりガソリン燃費率の16%向上また事務用紙については社内文書は全て裏紙使用と全社的にコピーの両面印刷化の実行そして得意先に対しては可能な限り電子メールを活用し21%削減と目標を大きく達成しました。

地域への啓発活動として実施してきた当社周

辺の清掃も会社行事の一貫として定着してきました。

さらに社長の提案により営業車をエコカーに乗り換えるなど、今まで以上に環境改善に取り組む事が出来ました。

今後は、環境に適した包装資材の推進等を通して多くの企業また地域に環境意識への向上が広まるよう努力していきます。



〒612-8017
 京都市伏見区桃山南大島町67-43
 TEL：075-611-3780
 FAX：075-622-7055
 e-mail：momopori@alto.ocn.ne.jp
 URL：http://www.momopoly.jp
 創立年月：1971年5月

三共精機株式会社

KESステップ2を取得して今年で3年目を迎えました。

平成20年度の環境影響項目は①環境改善設備の拡販 ②環境改善商品の拡販 ③切削工具リサイクル ④環境美化活動 ⑤社員エコフォーラムの5項目にしました。特に今年度は環境影響項目の一つでもある「切削工具リサイクル」にて使用済み切削工具を回収することによりレアメタルのリサイクル推進にも成果をあげることができました。

また、この活動により生み出された資金

	2008年度目標	2008年度実績	達成率
環境改善設備の拡販(千円)	144,000	146,573	101.8%
環境改善商品の拡販(千円)	54,500	61,577	113.0%
切削工具リサイクル(kg)	1,000	1,432	143.2%
環境美化活動(日)	440	440	100%
社員エコフォーラム(回)	22	22	100%

を元に「京都モデルフォレスト運動」で南丹市美山にて植樹活動などつながりの森づくりを続けており、京都の環境保全や二酸化炭素削減から温暖化防止の役割を担えたと感じております。

また、「環境商品の販売」につきましても社員が昨年以上に知識を深め、お客様へより良い環境商品を提案出来るようになって参りました。これらの活動や啓発効果が認められ京都環境賞特別賞や京都



オスカー認定という栄えある賞を受賞することができたと考えております。



今後もKES活動をより一層充実させ、社員一丸となって地球環境に優しい取り組みを行っていきたいと考えております。

〒601-8328
 京都市南区吉祥院九条町49番地
 TEL：075-682-5674
 FAX：075-693-3173
 e-mail：tanaka@sankyo-seiki.com
 URL：http://www.sankyo-seiki.com/
 創立年月：昭和23年5月

株式会社 五健堂

弊社は、物流センターを運営し、一拠点に集められた食料品類をスーパー・飲食店・工場・会社・小売店などに配送する食品物流を主たる業務としております。平成19年11月にKESステップ2を取得して以来、社員全員が一丸となり、KES活動に取り組んでいます。環境管理重点テーマは、①電力使用量の削減 ②一般廃棄物発生量の削減 ③グリーン購入(調達)の推進 ④事務用紙使用量削減 ⑤自社周辺の清掃等啓発活動の五つです。物流会社(運送業)の場合「軽油(燃料)消費量の削減に取り組むべきでは」という、ご意見を頂戴することが多いのですが、約8年以上前から全車両に



デジタルタコグラフを取り付けて、アイドリングや速度などを徹底管理し燃料費の削減に努めてまいりましたので、常に

取り組んでいることよりも、意識していなかった部分を抜粋して取り組むこととしました。事業拡張のため、冷凍・冷蔵倉庫の床面積が2年前に比べて2.5倍となりましたが、電力使用量は1.2倍程度に収まっており、最新の機器を導入した効果が出ています。廃棄物については、空缶・空瓶・ペットボトル・段ボール・紙屑など再生可能なものは確実に分別し、リサイクル業者の方に引き取っていただいています。グリーン購入の一環として、OA用品のカタログに表示されているエコ商品ができる限り選択購入しています。事務用紙使用量の削減については、法令の保存期限が経過した書類などについてもできるだけ再利用し、また、送付されてきた文書などについても、裏紙として再利用できるものは必ず再利用に回しています。自社周辺の清掃活動ですが、毎月第三水曜日に、自発的に社員が集い、楽しみながら実行しています。移転当初、会社周辺はゴミや雑草だらけでしたが、現在は、とてもすっきりとしており、自発的に集ってくれた社員がいることを誇りに思います。時おり、他の企業様社員が、会社周辺の清掃

活動に取り組んでおられるのを見かけると、「あっ！この会社にもKESが浸透しているのかな！」と思い、なぜか心が和みます。もっともっと、KESが幅広く浸透し、地球の環境が守られることを願いながら、これからも積極的にKES活動を継続していきます。



〒612-8251
京都市伏見区横大路菅本2番地58
TEL: 075-612-6688
FAX: 075-612-5050
e-mail: hayashi@gokendo.co.jp
URL: http://www.gokendo.co.jp
創立年月: 1990年4月

岩手県 田野畑村役場

本村は、「日本一きれいな村」の実現を村政の重点施策として位置づけ様々な取り組みを行っています。その一環であり本村における環境改善活動の先導的な取り組みとして、ies(岩手環境マネジメントシステム・スタンダード)を導入しました。H15年度から取得に向けた活動をはじめ、H16年3月には、県内市町村で初めて認証を取得しています。

当初は重点目標を「電力量の削減」「事務用紙使用量の削減」「廃棄物の削減」の3つとし、環境活動推進員が中心となり改善活動に取り組ましました。目立つ取り組みではありませんが、全職員が環境影響を常に意識するように周知徹底を



図り、ノー残業デーの実施、ミスプリントの裏紙使用、徹底したゴミ分別及び紙リサイクルの推進など、できることからコツコツと取り組みを進めています。第5期からは、「CO₂の削減」を重点目標に加え、公用車の相乗り出張やアイドリングストップなどに取り組んでいます。



また、地域での改善活動への職員参加や独自の職員ボランティアの実施など積極的な取り組みを推進しています。

村では、「環境基本条例」及び「環境基本計画」を策定し、「村民・事業者・村」がそれぞれの役割を担い、協働による環境保全活動を推進しています。

今後も、村民の先導的な役割として、また、環境保全のために取り組みを進めていきます。

項目	第1期 (H15.12~H16.11)	第4期 (H18.12~H19.11)	削減率
電力使用量(kWh)	125,227	108,287	13.5%
廃棄物排出量(kg)	8,952	6,786	24.2%

〒028-8407
岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑143番地1
TEL: 0194-34-2111
FAX: 0194-34-2632
e-mail: Lg03484@vill.tanohata.iwate.jp
URL: http://www.vill.tanohata.iwate.jp
村制年: 明治22年

岩手県立北上翔南高等学校

本校は平成18年度にiesを取得し、今年で4年目を迎えました。

本校のユニークな取り組みの一つに「エコタイム」があります。これは美化委員が晴天の日に、昼休みの消灯を校内放送で呼びかけるもので、省エネに大きく貢献しています。また、ゴミの分別の徹底のほか、リサイクルボックスを全教室に設置し、使用済み用紙の回収にも力を入れています。



「燃料電池自動車啓発推進事業」
貴重な車をバックに記念撮影
(平成20年7月1日)

教科指導でも、昨年は、美術科の「エコバックのデザイン」、家庭科の「EM廃油石けん作り」等、積極的に環境学習に取り組ましました。

さらに、省エネ・

省資源の一層の推進のため、「環境コーナー」において、電気・水道水等の目標値と月毎の実績値をグラフにして、全校に周知し、エコ活動の意識強化を図っています。



家庭クラブ委員が取り組んだ
「EM廃油石けん作り」
(平成20年5月30日)

昨年7月には、「燃料電池自動車啓発推進事業」の開催をしました。水素と酸素の化学反応で走る燃料電池自動車の仕組みを学んだり、実際に試乗して未来の低公害車への理解を深めました。こうした政府・産業界が一体となって進めている温暖化対策にふれることで、生徒の意識を高める助けになったと考えています。

今後もマクロに環境問題を考える力を養うとともに、日常生活でエネルギーや資源を無駄にしない生活習慣を身につけること、を目標に、iesを継続していきたいと思えます。

省エネ・省資源の実績

	平成17年度 (ies取得前)	平成18年度 (ies取得)	平成19年度 (継続更新)	平成20年度 (継続更新)
電気(kWh)	466,784	423,634	393,743	327,950
水道(m ³)	6,744	7,143	6,446	6,070

〒024-0051
岩手県北上市相去町高前樋13
TEL: 0197-71-2123
FAX: 0197-71-2161
e-mail: shonan@kss-h.iwate-ed.jp
URL: http://www2.iwate-ed.jp/kss-h/
創立年月: 大正8年4月

東北精密株式会社

当社は半導体製造装置及びユーティリティー装置等の設計・資材調達・機械加工・組立・品質保証までの一貫製作に対応しております。iesステップ2取得に当たりましては、4年前企業に対する環境責任の重要性が求められる中、社内でも環境に対する必要性を論じる声が高まり、急遽社内で環境委員会を立ち上げ、様々な環境マネジメントシステムを勉強する所からスタートしました。その



中で、低コストで地域性に合った活動を実施出来るiesを選択し取得に向け本格的に活動を開始致しました。通常2回程

度のコンサルを4回に増やし多くのアドバイスを頂き2006年12月に認証を頂く事ができました。昨年までは、電力量・紙・廃棄物・グリーン調達と手の付けやすい所から改善活動を実施して参りました。環境改善により各目標も達成する事が出来、社員の環境意識も高まり活動が定着してきている事が実感できますが、同時に改善により年々目標達成が困難になってきている事も実感しております。活動へのモチベーション向上及び達成感を味わえる様、本年度からは、レベルをワンステップ上げ、各工程で

生産性改善を実施し利益に直結した環境改善をテーマに活動を実施しております。

07~08実績値

	2007年度	2008年度	削減率
電力使用量 (kWh/年)	716,285	582,476	18.60%
紙使用枚数 (A4換算 枚/年)	228,100	176,500	22.60%
廃棄物排出量 (kg/年)	3417.3	1619.5	52.50%

〒024-0004

岩手県北上市村崎野22-83-13

TEL : 0197-68-3222

FAX : 0197-68-3223

e-mail : seizo2-3@tohokuseimitsu.co.jp

URL : http://www.tohokuseimitsu.co.jp

創立年月 : 1974年2月



太洋工業株式会社

当社は、コンピュータ周辺装置、ATM装置などの筐体及び部品の精密板金品を製造している会社です。KESステップ2を取得して5年目を迎えました。日常業務に於ける地道な活動が評価され、様々な機関より取材を受け、日本商工会議所発刊ビジネス情報誌や日立グループCSR報告書2008版などに記事が掲載されています。

2005年度より全社員が携帯しています環境カードは、本年で5冊目になり環境に対するモチベーションの維持に大きな役割を果たしています。また、1985年(昭和42年)より続いております小集団活動(プライド運動)とタイアップするこ



の母体になっています。環境改善の詳しい取り組みにつきましては、環境レポートをご覧ください。当社ホームページよりご覧頂けます。

今後は、会社経営に寄与するテーマについて活動すると共に、PDCAサイクルが事業活動に反映できるよう、そして業績アップに繋がるようにと考えています。また、「環境

とで、環境を切り口にしたテーマの様々な提案・改善活動が行なわれています。KES活動を進めていく上で重要なボトムアップ



を良くするのも、悪くするのも、人である」というように、人を育てる活動にも積極的に取り組んでいきます。創意工夫で目標達成に挑戦すると共に、環境負荷低減を行いKES活動を推進して参ります。



〒316-0025

茨城県日立市森山町5丁目8番地8号

TEL : 0294-52-2255

FAX : 0294-52-2279

e-mail : Kimura@taiyokogyo-k.co.jp

URL : http://www.taiyokogyo-k.co.jp

創立年月 : 昭和22年12月

鈴新株式会社

弊社は1935年以来、鉄鋼二次製品の卸売業を継続してまいりました。

KESとの出会いは、日立建機(株)様とのお取引の関係で、グリーン調達の要請からです。事務系の小企業で、事業所は神田事務所と八潮倉庫ですので、明るく・楽しく・ほがらかにをモットーに全員参加で活動を続け、認証を取得してから4年目に入りました。

電力使用量の削減は、経費削減に貢献しました。



環境委員会

八潮倉庫の事務所は、蛍光灯の本数を減らし、夏は事務所周りによじずを張り、水をかけて冷房電力を削減



環境啓発活動

者に自然や環境を身近に感じてもらっています。

神田事務所では環境啓発活動として、ビルの周りを掃除しています。エコマーク入り活動用ジャンパーを全員分作りました。活動日をクリーンアップDAYと定め、社内整頓も呼びかけています。

環境認証取得が先行しましたが、卸売業として、環境関連の事業化を目指し、環境活動でも事業の提案を社内から促進したり、新規

しています。紙ごみはシュレッダーにかけて、梱包材に利用しています。また、倉庫事務所入口でメダカやグッピーを飼育し、来所

事業予算をとったりしてきましたが、ようやく実現の可能性も出てきました。環境関連の人脈も広がってきました。これもKES活動を地道に続けてきたお陰であると感じています。

年度(6月~翌年5月)	2005	2006	2007	2008 (11ヶ月)
電力消費量(kWh/年)	43,273	39,742	40,635	36,939
2005年を100とした場合	100%	92%	94%	85%

〒101-0047

東京都千代田区神田2-4-4 藤和内神田ビル

TEL : 03-5296-6641

FAX : 03-3255-9890

e-mail : murakoshi@suzushin.com

URL : http://www.suzushin.com

創立年月 : 1935年10月

広島工業株式会社

当社は1975年に東大阪で創業、1981年に三重県へ工場を移設し、バッテリー（鉛蓄電池）用の鉛部品の製造に携わってきました。M-EMS取得のきっかけは、時代の傾向として地球温暖化対策に目を向けなければならないことから、2007年よりM-EMSステップ1に向け実態調査を行い、翌2008年4月に認証を取得しました。

2008年度の環境改善活動として、

①鉛部品の製造で、材料である鉛を熔解するのに必要なガス使用量の2%削減

②事務所、工場から排出されるゴミの廃棄物量4%削減

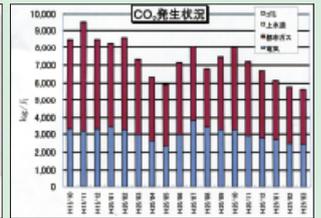
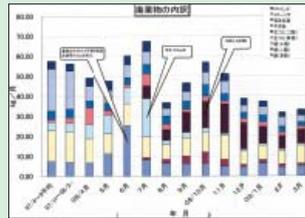
③職場の体質改善を目的として5S活動の展開

の3項目をテーマとして活動し、個々のデータと共にCO₂排出量を社内に掲示してきました。

具体的に、ガス使用量については、点火時刻の調整・保温の改善によって目標を大幅に上回る10.5%の削減を達成し、廃棄物量削減については、結束バンドを布製に変更し、リユース化させることで15.3%削減を達成しました。

省エネルギー・省資源に取組むことで、以前より従業員の環境意識やコスト削減意識が向上し、社内でのコミュニケーションも強化されました。

今後も社内一丸となって、色々なアイデアを駆使して環境改善活動に取り組んでいきたいです。



〒518-0752
三重県名張市蔵持町原出522-43
TEL: 0595-64-2038
FAX: 0595-64-2392
e-mail: hrsm2531@crocus.ocn.ne.jp
創立年月: 1975年11月

株式会社 ハイロックス

ハイロックスは創立以来一貫して「積極的な観察」をキーワードに、レンズをコア技術に独自のデジタルマイクロスコブの開発・製造・販売をおこなってきました。

2005年より自然環境に即したもののづくりに着手し特定の有害物質を含まない製品作り、全ての商品を「RoHS指令対応」にすること、取引先のご紹介もあり本社を対象にKES-Step2の取得を目指し3年目の更新に至っております。



現在では、「環境影響を低減」を重点項目に①業務改善の推進（無理・無駄・ムラの低減／業務効率の改善）、②省資源化（PPCカウンタ数の低減）、③環境保全（社外美化活動）、④環境委員会の開催、⑤

省エネルギー化（維持管理目標／グリーン電力利用）に取り組んでいます。



3年間の取り組み実績として電力消費量は15%減、紙使用量は17%減、PPC使用量に至っては50%減まで削減することができました。

主な試みとして、会議における資料はプロジェクタやモニタを活用し、できる限り配布物を軽減させ、議事録についても同様の処置を行いデータとして配信する試みを皆に周知し実行できた結果と自負しております。

又、第三者認証を受けたことにより納入先からの環境活動の取組みに関する書類作成が

非常に迅速に対応でき業務に於いてもプラス効果を得ております。

今後も積極的に環境問題への取組みを行い良い製品づくりに注力してゆきます。

	年電力使用量(kWh)	紙の使用量(枚)	PPC資料量(回)
2006	63,930	126,900	34,920
2007	57,282	117,500	22,331
2008	54,203	105,000	17,001

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南2-15-17
TEL: 03-3311-9911
FAX: 03-3311-7722
e-mail: tokyo2@hiroxx.com
URL: http://www.hiroxx.com/
創立年月: 1978年3月

有限会社 丸徳産業

当社は、一般・産業廃棄物収集運搬を主事業とし、鹿児島市を中心に事業所から排出される廃棄物を扱っています。

2006年にKESステップ1を取得して以来、4年目の活動になります。重点項目は、①燃料使用量の削減、②電力使用量の削減、③車庫周辺の清掃等社会貢献の3つを掲げ、燃料使用量の削減ではエコドライブ実施の徹底や巡回ルートの変更等を行い、運転手の意識も大きく改善されました。電力使用量の削減では、エアコン温度の適正管理、休憩時間の消灯を徹底し、車庫周辺の清掃では、月1回の実施を徹底、今では適時清掃を行う習慣も付いてきました。

また、昨年度は環境活動レポートを発行し、社外(顧客・自治体)への活動報告も

行い、顧客である医療法人様からは「環境活動に取り組み、エコ活動を行うことは素晴らしいこと。廃棄物収集時の挨拶も気持ちよく、ゴミステーションもきれいに管理されて喜ばしい。」との意見を頂きました。

1981年からは環境関連及び事業に関わる新聞記事のスクラップを行い、自社事業推進だけでなく自治体や同業者でも長期間の情報を活用でき喜ばれています。



新聞記事スクラップ(一部)

今後、更なるステップアッ

プを図り、多方面から環境に目を向け、全社員一丸となって改善活動に取り組んでいきたいと考えています。



一般廃棄物収集運搬車両: 週1回ワックスがけを実施

〒890-0008
鹿児島県鹿児島市伊敷4丁目3-21
TEL: 099-220-0101
FAX: 099-220-7218
e-mail: marutoku@btvm.ne.jp
創立年月: 1978年3月

株式会社 ニホデン

株式会社ニホデンは、主に企業向けに導入されるコンピュータの電源並びに通信線の設計と施工を行っている電気工事及び電気通信工事業者です。

お取引先様の要請でISO14001の取得を検討中に、同業者からKES環境機構の紹介を受け、ISOで迷っていたイニシャル並びにランニングコストの課題に対してKESが低コストであり、かつ、KESがわかりやすく、取り組みやすい環境規格である事がわかり、全ての課題解決の確信を得てKESの採用を即決しました。



事務所周辺清掃

KESステップ1認証取得に向け社内体制を作り、「KES構築の手順書とスケジュール

表」に沿った当社の身丈にあった『環境マネジメントマニュアル』を作成し、それに基づき全員参加で徹底した進捗管理を行い、平成20年9月に認証取得しました。



分別回収

環境改善目標には、①電力使用量の削減

②一般廃棄物の削減（可燃ゴミ）③啓発活動：事務所周辺の清掃を選定しました。

KES活動による1番の効果は、当社従業員一人ひとりの環境意識が高まり、コミュニケーションによる企業力がアップしたことです。また、使用電力量、廃棄物量の削減達成は勿論のこと、顧客作業現場における環境配慮の施工工事や行動がお客様から誉められ、

感謝されるようになったことを、高く評価しています。

取得1年でKES活動を卒業するのではなく継続することに注力し、環境マネジメントシステムを経営に活かすと共に、周辺地域社会に“KESの仲間”を増やしたいと考えています。

これからは、お客様に地道な提案活動を行い、環境に優しい製品を提供することこそ、私達の企業使命であることを再認識し、地球環境改善に微力ながら貢献する所存でございます。

〒734-0023

広島県広島市南区東雲本町1丁目15-22

TEL：082-285-1311

FAX：082-283-7120

e-mail：yoshimoto@nihoden.co.jp

創立年月：2004年10月

株式会社 ホテルグランヴィア広島

ホテルグランヴィア広島は、地球環境にやさしいホテル経営を目指し、平成21年2月に中四国地方のホテル・旅館業としては初めて「KES・ステップ2」を取得しました。

環境改善活動により環境負荷を低減するにあたり、まずソフト面で「従業員一人ひとりの意識と心がけ」が重要との観点から、環境宣言カードを各自携帯し、こまめな節電や空調管理による省エネルギーの推進、両面印刷やデータの授受によるOA用紙使用量の削減、ごみ分別の徹底によるリサイクルの推進、ホテル周辺清掃などに取組んでおります。

ハード面に関しても、平成15年9月にコージェネレーションシステムを導入する

など、以前から積極的に取組んでおりましたが、KES活動開始後は平成20年10月に客室冷蔵庫すべてをインバーター式に交換、3月の客室改装時には節水型トイレの導入や電気ポットから電気ケトルへの変更など、環境改善に取り組んでおります。

その結果前年比、電気使用量で△6.7% (kWh/百万円)、OA用紙で△2.3%などの



ホテル周辺清掃の様子

成果を得ることができました。

今後、広島KES推進機構の第1号企業として、環境側面から「国

際平和文化都市広島」の魅力向上に貢献したいと考えています。

	19年度 (8~3月)	20年度 (8~3月)	削減率 (%)
電気使用量 (kWh/100万円)	1,689	1,575	6.7
OA用紙 (千枚)	827	808	2.3

※平成20年8月1日より活動を開始したため、各年度累計値は8月からの数値。

〒732-0822

広島県広島市南区松原町1番5号

TEL：082-262-1111

FAX：082-262-4050

URL：http://www.hgh.co.jp

開業年月：昭和59年1月





KESと協働活動組織



KES協働審査登録機関連絡先

KES協働審査登録機関		所在地	連絡先 (TEL)
KES	NPO法人KES環境機構	京都市	075-321-4767
OES	おおつ環境フォーラム	大津市	090-9613-1524
AES	青森環境マネジメント・フォーラム	青森県	090-6222-7214
ies	いわて環境マネジメント・フォーラム	岩手県	019-621-1890
KEMS	こうべ環境フォーラム	神戸市	078-367-2640
HI-KES	日立グループ	東京都	03-4235-4375
M-EMS	M-EMS 認証機構	三重県	059-221-1605
TEMS	NPO法人地域活性化LA21	宝塚市	0797-84-9921
ESL	(株)環境ソフトウェア研究所	東京都	03-5645-8183
TGAL	NPO法人エコサポートTGAL	鹿児島県	099-218-8837
Y-ES	NPO法人ヨコハマみらい環境協議会	横浜市	045-782-8089
M-EMS	みちのく環境管理規格認証機構	宮城県	022-772-6371
HES	エイチ・イー・エス推進機構	北海道	011-241-6733
HKES	広島KES推進機構	広島県	090-7970-4621
KESK	KES関東	東京都	090-6148-1845

KES倶楽部

KES倶楽部は、KES環境マネジメントシステム・スタンダードを審査登録された個人・事業者・団体等による相互交流と環境情報の交換の場とすることを目的として設立されている組織です。

この目的を達成するために、次の活動を行うことを定めています。

- ①KES取得後の運用に関する情報提供
- ②KES審査・登録された組織の構成員への環境関連学習

KESに関わる研修、情報交換、KESマネジメントシ

テムを進めていくための環境目標設定のための事例研究や各組織のKES活動の経験交流などを行っています。

また、活動を促進するために、KES倶楽部メールマガジンを毎月末にKES倶楽部会員組織の方々にメール配信しています。

KES倶楽部の活動への参加はご自由です。KES倶楽部メールマガジに、これらの活動計画について掲載しますので、KES認証登録の組織の皆様の積極的なご参加を期待しています。

京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト

京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクトは、京都の小学校区を基本としたそれぞれの地域で、地域の事業者、学校、住民が協力して、環境問題に取り組む仕組みづくりを目指した活動です。事業者の大きなメリットは、KESやISOなどで「プラスの環境影響」として取り組むことができるということです。また、学校や住民と協働で活動することにより、地域における認知度や信頼性が高まり、社内での環境問題への意識も向上します。

2008年度は、自然エネルギー環境学習チーム、交通環境学習チーム、市民共同おひさま発電所づくりチーム、水源の森づくりチームの4つのチームが、それぞれ活発に活動を展開しました。各チームでは、複数の事業者が協力し、互いの持ち味を活かしあって活動を進めます。その際、環境問題に取り組むNPOからサポートを受けら

れるため、初めての事業者にも、安心してご参加いただけます。

参加事業者からは、「他の企業と、一つの目的に向かって一緒に活動することができ、とても楽しい」、「社員教育の一環になる」といった感想を、また学

校からは、「児童が、直接事業者から話を聴くことができ、良い体験になった」といった感想をいただいています。

事業者の皆さん、たくさんの出会い、喜びがあるKESCの活動に、ぜひご参加ください。



北醍醐小学校にて、電気と地球温暖化についての出前環境学習を実施

京のアジェンダ21フォーラム・京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクトチーム
プロジェクトリーダー 有限会社村田堂 取締役 長屋博久

団体紹介

● 京エコロジーセンター (京都市環境保全活動センター)

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
TEL : 075-641-0911 FAX : 075-641-0912
URL : <http://www.miyako-eco.jp/>

● 京のアジェンダ21フォーラム

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 京エコロジーセンター内
TEL : 075-647-3535 FAX : 075-647-3536
E-mail : ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp URL : <http://ma21f.jp/>

● 京都府地球温暖化防止活動推進センター

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上ル六丁目283番4
TEL : 075-211-8895 FAX : 075-211-8896
E-mail : center@kcfc.or.jp URL : <http://www.kcfc.or.jp/>

KES審査・登録におけるQ&A

Q1. KESの審査・登録はどこが行っているのですか？

A 特定非営利活動法人KES環境機構が行っています。

Q2. 特定非営利活動法人KES環境機構はどんな組織ですか？

A 環境と共生する持続可能な社会作りを目指す京のアジェンダ21フォーラムの「KES認証事業部」として2001年4月に設立されました。審査・登録件数の増加などに対応するため、2007年4月より特定非営利活動法人KES環境機構に生まれ変わりました。

Q3. コンサルタントと審査は同じ組織（KES環境機構）が行うのですか？

A コンサルタントも審査もKES環境機構が行いますが、コンサルタントと審査は別の審査員が行います。なお、KES審査員は、ISO14001審査員補以上の有資格者で、2ヶ月毎のKES審査員研修会受講が義務付けられています。

Q4. KESに取り組みたいのですが、何から始めればよいのでしょうか？

A まずはKES構築講座を受講してください（講座日数：1日、有料）。
KES規格の内容、取組の進め方についてKES審査員が講義いたします。

Q5. 審査・登録にかかる費用はどれくらいですか？

A 標準では表のとおりです。
※標準：従業員100名以下、登録事業所1ヶ所、京都市近辺。
ただし、事業規模、審査登録希望事業所数、所在地などによって別途費用がかかります。
KES環境機構へご相談ください。

【費用】

	初回審査費用	標準コンサル費用	2年目以降の確認審査費用
ステップ1	約6万円	約4万円	約3万円
ステップ2	約21万円	約7万円	約10万円

注) 上表は消費税を含めた概算値です。

Q6. 審査・登録にかかる期間はどれくらいですか？

A 平均的にステップ1で約6ヶ月、ステップ2では約7ヶ月です。

Q7. KESの登録有効期間はどれくらいですか？

A KESの登録期間は1年間です。登録を継続する場合は1年ごとに確認審査を受けてください。

お問合せ・お申込み



特定非営利活動法人 KES環境機構

〒615-0801
京都市右京区西京極豆田町2番地 京都工業会館2F
TEL:075-321-4767 075-323-6686
FAX:075-322-6901 075-323-6686
E-mail:kes-ems@keskyoto.org
URL:http://www.keskyoto.org/

KES審査・登録事業所 環境取組事例集

●発行
特定非営利活動法人 KES環境機構
〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2番地 京都工業会館2F
TEL:075-321-4767 075-323-6686 FAX:075-322-6901 075-323-6686
E-mail:kes-ems@keskyoto.org URL:http://www.keskyoto.org/
平成21年7月改訂

●KES環境機構所在地

